



鶴が丘一丁目 町内会だより

回 覧

2022年度-3号

発行:令和4年12月9日
発行個所:会報・広報委員会

恒例「一丁目町内会新年会」の中止のお知らせ！

町内会行事は、新型コロナウイルス感染症の中、今年度は、感染症の動向ならびに感染症対策を考慮して3年振りに「夏の交流祭」「秋の交流祭」ならびに「落ち葉清掃と文化イベント」など、これまでと形を変えて開催することが出来ました。

さて、今年度の最後の行事として令和5年新年を迎えての「町内会新年会」を計画しておりましたが、会場となる「鶴が丘コミュニティーセンター」が大規模改修工事に入っており、今年度内の使用が出来ず、中止せざる負えない状況となっております。

会員の皆様には、ご理解を頂きますようお願いいたします。



改修工事状況

町内会地域内でのイノシシ目撃等の続報！

◆宮城県猟友会 仙台泉支部の捕獲用「箱わな」の状況！

前号でお知らせしました「宮城県猟友会 仙台泉支部」での鶴が丘一丁目14番地隣接（県民の森敷地）に設置した「箱わな」で1頭のイノシシ(子)が捕獲されました。

なお、「箱わな」の設置は、捕獲状況を考慮し県民の森内で移動しながら「イノシシ捕獲作戦」を継続するとの事です。

◆仙台市泉区でも捕獲用「箱わな」を設置しました！

以前会員より情報を寄せていただきましたイノシシ出没情報に基づき、仙台市泉区で送電線線下のギャラリーの東側の県民の森に数基の「箱わな」を11月中旬に設置しています。

◆目撃情報がまだまだ寄せられています。イノシシ対策について仙台市ホームページよりイノシシ啓発チラシ「イノシシ出没注意！！」より抜粋し掲載しました。

イノシシ出没に注意！！

近年、農村地域だけでなく、市街地近くにイノシシが出没するようになりました。イノシシを市街地に近づけないために、イノシシの生態を知り、地域全体で協力して対策することが重要です。



● イノシシの生態

サイズ	体長:約80~130cm、体重:約20~80kg
食性	何でも食べる雑食性で、農村部では野菜や落ちた果物、市街地では生ごみや家庭菜園の野菜などをエサにすることがあります。また、芝生を掘り起こして、土中の虫などを探すこともあります。
行動	性格は非常に神経質で警戒心が強いです。本来は昼行性ですが、人里近くでは人間を避けて夜間や薄暗い時間帯に活動します。
繁殖	春から初夏にかけて平均4~5頭のウリボウと呼ばれる子どもを出産します。寿命は10歳前後です。
特徴	市街地では、生ごみの味を覚えて、繰り返しごみ集積所に現れることがあります。



イノシシに出会ってしまったら...

- 大声を出さず、まずは落ち着く！
- 棒や石で攻撃しない！
- 背中を見せないよう、ゆっくりと後退する！
- ウリボウ(子ども)であっても近づかない！

